

【JPrOS 通信 No. 263】 2017. 5. 11 第9回国際シンポジウム「農学プロテオーム研究の最前線」  
のお知らせ

★★★ 日本プロテオーム学会 学会通信第 263 号 ★★★

2017.5.11

-----  
【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問合せ】【掲載希望】は、日本プロテオーム学会事務局(info@jhupo.org)にお願いいたします。  
-----

■■■ 第9回国際シンポジウム「農学プロテオーム研究の最前線」のお知らせ ■■■

日本プロテオーム学会員の皆様

筑波大学大学院生命環境系生物機能科学専攻の小松節子先生より、第9回国際シンポジウム「農学プロテオーム研究の最前線」のご案内が届きましたので以下にお知らせいたします。

(本メールが読み難い場合は添付の PDF ファイルをご覧ください)

日本プロテオーム学会事務局

-----  
日本プロテオーム学会員の皆様

プロテオミクス解析技術によって、植物の増殖分化・生長などに係わるタンパク質、環境ストレスにより発現が変動するタンパク質が多数発見されてきました。これらタンパク質の機能を解明すれば、生命の基本現象を人為的に制御する技術やストレス耐性植物の評価等、生産性の高い作物を育成する道が開かれる可能性があります。近年、ゲノム塩基配列情報および生物資源の充実により、多くの生物において機能解明研究が行われていますが、農学分野ではゲノム情報の不十分な生物種も多いのが現状です。本シンポジウムでは、プロテオミクス技術が農林水産分野の研究にいかに関与できるかを議論いたします。さらに、植物のみならず、食品分野、昆虫・畜産分野、微生物分野の研究者からの演題投稿および参加を期待しています。第1～3回は日本・つくばで開催されましたが、その後アジアオセアニアの各国で開催され、2017年度は、第9回国際シンポジウム「農学プロテオーム研究の最前線」(第4回アジアオセアニア農学プロテオミクス機構会議)として、マレーシア・クアラルンプールで8月15日～17日に開催されます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

記

第4回アジアオセアニア農学プロテオミクス機構会議「Proteomics in Biotechnology & Life Science」

【日時】 2017年8月15日～17日

【場所】 マレーシア・クアラルンプール・Kuala Lumpur Teaching Centre, UNMC, Chulan Tower

【主催】 マレーシア農学プロテオミクス学会、アジアオセアニア農学プロテオミクス機構

【抄録投稿締切】 2017年5月31日 公募による口頭発表とポスター発表を募集しますのでふるって応募ください。

【参加登録締切】 2017年6月30日 事前登録が必要ですので忘れずに登録してください。

【申込方法】 詳細は下記ウェブを参考にしてください。

<http://ipc2017.weebly.com/>

【問合せ先】

Chin Chiew Foan (University of Nottingham Malaysia Campus)

(事務局: P.O. Box 82, 43007 Kajang, Selangor Darul Ehsan, Malaysia, 電話: 603-87273275, E-mail:  
ipc2017maps@gmail.com (Cc: loonghy@aarsb.com.my))

日本国内 小松節子(筑波大学・生命環境系)

Tel: 029-853-5900, E-mail: komatsu.setsuko.fu@u.tsukuba.ac.jp

以上